

1. 「なぎさ海道」における整備状況調査

1. 調査の目的

パブリックアクセスの基本データであるベイエリアの水際線の土地利用や親水性の実態については、これまで、平成3～5年度の「なぎさ海道調査研究資料」（以下「研究資料」という）と、平成10～11年度に旧国土庁等による「大阪湾ベイエリア沿岸域のパブリックアクセス整備計画調査」（以下「整備計画調査」という）が行われているが、その後は調査が実施されておらず、実態が十分に把握できていないのが現状である。

そこで、水際線の土地利用と親水性の実態を調査し、過去の調査結果との比較を踏まえつつ、親水空間整備の進捗状況を把握するとともに、今後のパブリックアクセス整備の基礎資料の整理を目的として本調査を実施した。

2. 調査対象地域

調査対象区域は、「なぎさ海道」エリアのうち、兵庫県赤穂市～和歌山県御坊市及び淡路島の水際線を対象とする。

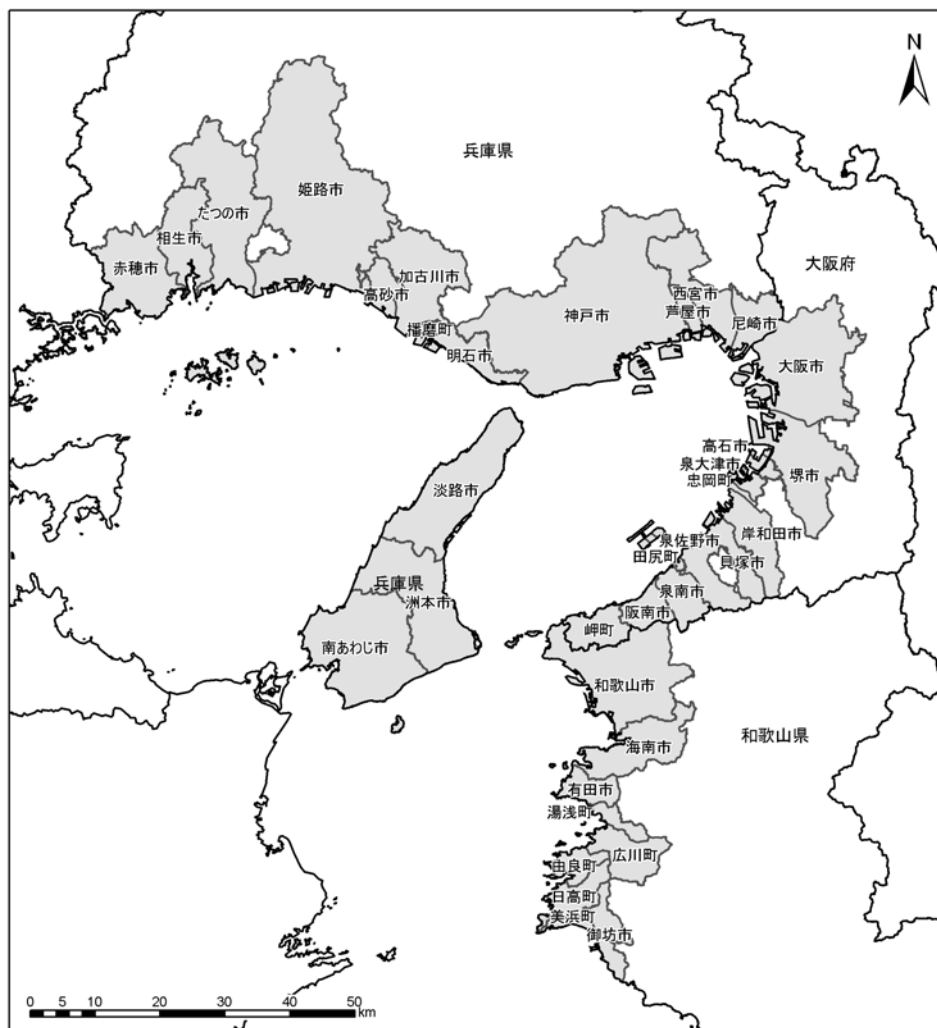


図1 調査対象範囲

3. 調査の内容

3-1 土地利用の分類・定義

土地利用の分類・定義については、表1のように「研究資料」における分類・定義を踏襲することを基本に一部補足した。

表1 土地利用の分類・定義

水際線の土地利用	土地利用類型	特徴
工業施設 運輸流通施設 供給処理施設	①工業流通施設	・クレーン、パイプ、ドルフィン、造船ドックなど、大規模な運輸施設、工業施設、取排水施設などがみられる ・専用岸壁になっている場合が多い
	②岸壁・物揚場	・直立護岸に物揚場がみられる ・大規模なクレーン等は立地しない
	③護岸・防潮堤	・かみそり護岸や防潮堤 ・取排水等以外には、海との直接的な関係はみられない ・ <u>空港、水際線を通る鉄道</u>
漁港、船溜まり	④漁港等	・漁船が多数停泊する ・大規模なものでは、市場、作業場、管理事務所等が併設されている ・漁船が多数みられる地方漁港及び船溜まりを含む
マリーナ、プレジャーボート係留地	⑤マリーナ等	・ヨット、プレジャーボート等が多数みられる ・ <u>不法係留は除く</u>
住宅地区	⑥住宅地	・水際線に沿って住宅が立地する
商業地区	⑦商業施設	・水際線に沿って商業施設が立地する
公共業務地区	⑧公共業務施設	・水際線に沿って業務施設が立地する
文教地区 厚生地区	⑨文教・厚生施設	・学校、青少年教育施設、文化施設（博物館、美術館、水族館等）、スポーツ施設等の文教施設 ・病院、各種の福祉施設等の厚生施設
公園・緑地、運動施設、海水浴場、神社仏閣	⑩公園・緑地等	・キャンプ場、面積的にある程度まとまった砂浜、展望施設や休憩施設を含む
道路	⑪歩行者系道路	・歩行者専用道路、海側に歩道の整備がなされた道路（ <u>景観的配慮がなされた歩道</u> ）、サイクリング道路、幅員が狭く自動車が通りにくい道路など ・自由に歩ける公共護岸の管理用道路や管理用の空間を含む ・施設に付随する歩道等は除く（施設の用途により分類）
	⑫自動車系道路	・海側に歩道の整備がなされていない道路 ・歩行者の安全性や快適性が確保されていない
橋梁	⑬橋梁	・橋（原則として海側に最も近い人の通れる橋を対象とする）
空地、改変工事中	⑭改変中	・埋め立て地や工場の移転跡地、資材置き場、施設付随でない駐車場、その他空地
田畑	⑮田畑	・田、畑等農業的土地利用がなされている空間
樹林地、草地	⑯樹林地・草地	・自然的な状況に近い樹林地や草地

※ 下線を付した項目は、「研究資料」の分類・定義に該当するものがないため、本調査で新たに設定したもの

3-2 親水性の分類・定義

親水性の分類・定義についても「整備計画調査」における分類・定義を踏襲することを基本とし、表2および図2の親水性レベル分類に基づき調査を行った。

表2 親水性レベル分類

親水性レベル		説明
自然海岸		自然の水際線 先行調査で自然海岸に分類されている箇所でも現在も自然海岸であるもの
人工海岸	レベルⅠ	水に触れることができる 砂浜、階段護岸、傾斜護岸等
	レベルⅡ	水辺に近づくことができる 消波ブロックのある海岸、垂直護岸の施された歩道、一般人が立ち入れる施設用地等
	レベルⅢ	水辺に近づけるが岸壁等が利用されていない時に限られる 岸壁等の船が係留できる箇所
	レベルⅣ	水辺に近づけない、水辺を見渡せない カミソリ護岸、防潮堤、工業流通施設など一般人が立ち入りできない施設用地等
改変中		

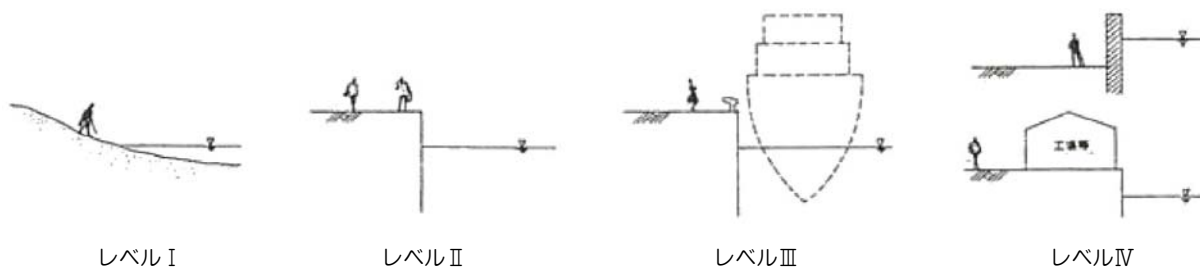


図2 親水性レベル分類のイメージ

なお、本調査は土地利用調査と親水性調査を同時に行っているため、両調査間で矛盾が生じないように、表3の通り左欄の土地利用形態については「土地利用と親水性の関係」から、右欄の親水性分類に該当するものとみなして、土地利用と整合を図った。

表3 土地利用分類と親水性分類との関係

土地利用分類	土地利用と親水性の関係	親水性分類
工業流通施設	・海岸部は専用岸壁もしくは生産・流通施設等となっており、開放されていない。	レベルⅣ
岸壁・物揚場	・特に公共岸壁の場合、立ち入り可能な場合が多い。 ・ただし、船が停泊し作業中の場合、水際に接近することができない。	レベルⅢ
漁港	・立ち入り可能な場合が多い。 ・ただし、漁船が停泊し作業中の場合、水際に接近することができない。	レベルⅢ
マリーナ	・立ち入り可能な場合が多い。 ・ただし船が停泊し作業中の場合、水際に接近することができない。	レベルⅢ
樹林地・草地		自然海岸
改変中	・立地する施設により親水性が変わるため、現状で判断できない。	改変中
橋梁	・親水性調査の対象外	-

3-3 土地利用及び親水性の調査方法

(1) 調査方法

土地利用及び親水性の調査においては、航空写真及び地形図の判読を基本とし、必要に応じて現地調査を行った。

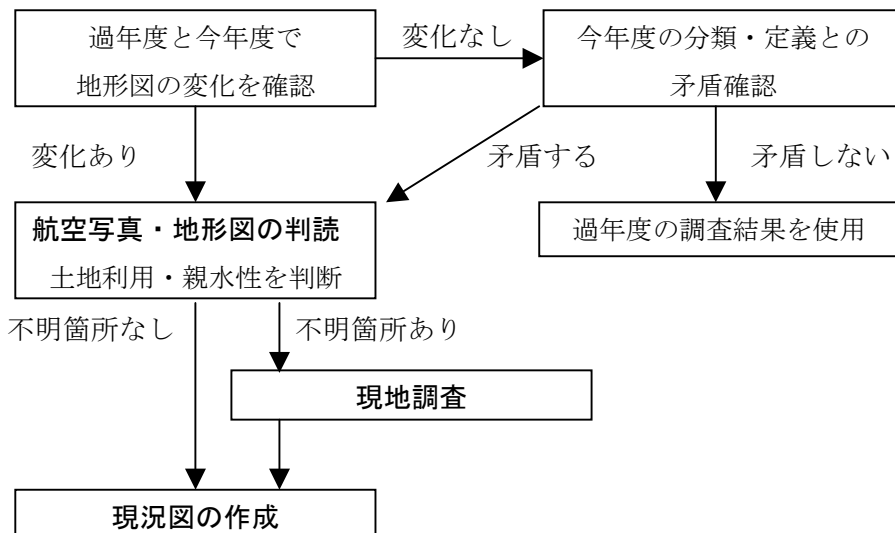


図3 調査の手順

(2) 調査結果の整理・集計

- ① 土地利用及び親水性の調査結果をとりまとめるにあたり、GIS（地理情報システム）を用いて、水際線のデータを作成した。
- ② 水際線のGISデータの属性として、今年度調査した土地利用と親水性の判読結果を入力した。
- ③ 過年度の調査結果についても②と同様の方法でデータを入力した。
- ④ ②、③のデータを基に図上計測により水際線の延長の集計を行い、現状の把握や過年度調査結果と今年度調査との比較を行った。

※ 過年度の調査については、既に「研究資料」「整備計画調査」の報告書において延長の計測が行われているが、各調査における計測方法、調査に用いた基図等が異なるため、各々の調査は必ずしも統一した精度となっていない。そこで過年度の調査との比較においては、過年度の計測値をそのまま用いるのではなく、本調査と同様の方法で入力したデータを用いて計測し直した値を用いることで精度の統一を図った。

(3) 集計の地域区分

調査結果の集計に当たり、以下の通り地域分類を設定した。

表4 地域分類

府県	地域	市町
兵庫県	神戸市地域	神戸市
	阪神地域	芦屋市、西宮市、尼崎市
	播磨地域	赤穂市、相生市、たつの市、姫路市、高砂市、加古川市、播磨町、明石市
	淡路地域	淡路市、洲本市、南あわじ市
大阪府	大阪市地域	大阪市
	泉北地域	堺市、高石市、泉大津市、忠岡町
	泉南地域	岸和田市、貝塚市、泉佐野市、田尻町、泉南市、阪南市、岬町
和歌山県	和歌山地域	和歌山市、海南市
	有田・御坊地域	有田市、湯浅町、広川町、由良町、日高町、美浜町、御坊市

(4) 土地利用と親水性の沿岸域の考え方

先行調査では「研究資料」と「整備計画調査」とで調査エリアが異なっている。本調査では土地利用、親水性とも概ね「研究資料」と同一の範囲を調査しているが、親水性の集計に当たっては「整備計画調査」と同一の範囲のみを対象とした集計も行った。

表5 過年度における土地利用と親水性の調査エリア

先行調査	調査項目	対象市町			沿岸域の考え方	
		府県名	先行調査	本調査	先行調査	本調査
研究資料	土地利用	兵庫県	赤穂市～尼崎市、淡路島沿岸の全市町	赤穂市～尼崎市、洲本市、南あわじ市、淡路市	海から最も下流の橋まで	海から最も下流の橋まで
		大阪府	沿岸の全市町	沿岸の全市町		
		和歌山県	和歌山市～御坊市	和歌山市～御坊市		
整備計画調査	親水性	兵庫県	姫路市～尼崎市、洲本市(旧五色町を除く)、淡路市(旧一宮町を除く)	ア) 赤穂市～尼崎市、洲本市、南あわじ市、淡路市 イ) 姫路市～尼崎市、洲本市(旧五色町を除く)、淡路市(旧一宮町を除く)	海から主要な国道まで	ア) 海から最も下流の橋まで(土地利用と整合) イ) 海から主要な国道まで ※ア)を基本としつつ、先行調査との整合を図るため、イ)も調査
		大阪府	沿岸の全市町	沿岸の全市町		
		和歌山県	和歌山市～御坊市	和歌山市～御坊市		

3-4 パブリックアクセスの整備目標に対する達成状況調査

「整備計画調査」で設定されたパブリックアクセスの整備目標に対する整備進捗度を把握することを目的として、親水性の確認および海辺の魅力拠点の整備状況調査を行った。

(1) パブリックアクセスの整備目標

整備計画の目標年次：

概ね 2025 年を展望しつつ、2010 年（平成 22 年）を目標年次と設定する

表 6 パブリックアクセスの整備目標

指標	目標	目標の内容
水際線の開放延長	自然海岸の保全	自然海岸については現在の状態（145km）を保全することを基本とする
	人工海岸の親水性	人工海岸は親水性レベルⅠとⅡを合わせて現状（228km）の2倍の約400km（水際線全延長の36%程度）を目標とし、現状とほぼ同程度の水際線延長を開放することを目指す
海辺の魅力拠点	緑地系魅力拠点	緑地魅力拠点は、整備済みと港湾計画、都市計画等で位置づけられた公園・緑地を中心に概ね80箇所（約880ha）以上を配置
	賑わい系魅力拠点	賑わい系魅力拠点は、商業施設やテーマパーク等を中心に整備済み・整備中を含め概ね20箇所以上を配置

(2) 海辺の魅力拠点の分類・定義

海辺の魅力拠点の分類・定義については「整備計画調査」を踏襲し表7の通りとした。

表 7 魅力拠点の分類・定義

拠点名	定義
緑地系魅力拠点	整備済みと港湾計画、都市計画等で位置づけられた公園・緑地で、敷地面積数3ha以上のもの
賑わい系魅力拠点	整備済み・整備中の商業施設やテーマパーク等で商業・娯楽施設等が集積している地区を想定

(3) 調査方法

「なぎさ海道」資源登録データベース (<http://www.o-bay.or.jp/dbbrowser/index.php>) に登録された資源から抽出することを基本としつつ、市販の地図で補足した。

緑地系魅力拠点の面積の判定は航空写真を参考に区域を確認し、図上計測を行った。

表 8 魅力拠点の本調査での分類・定義

拠点名	「なぎさ海道」資源の分類
緑地系魅力拠点	緑地公園、展望台・展望所
賑わい系魅力拠点	商業施設・複合施設

4. 調査結果

4-1 地域別の水際線における土地利用の状況

(1) 全体の傾向

- ・水際線総延長は、埋め立て地の増加等により 1,108km から 1,194km に増加している。
- ・産業施設（工業流通施設、岸壁・物揚場、護岸・防潮堤）（33.9%）の割合が最も高く、次いで自動車系道路（15.3%）、公園・緑地（10.6%）、樹林地・草地（9.6%）等が高い。
- ・全体的に産業施設が減少傾向にある一方、公園・緑地の割合が増加している。

表9 土地利用分類別水際線延長及び割合（平成5年度）

地域		工業流通	岸壁物揚場	護岸防潮堤	漁港等	マリナ	住宅	商業	公共	文教厚生	公園緑地	歩道	車道	橋梁	改変中	田畑	樹林地草地	合計
兵庫県	神戸市地域	25,606 21.5%	46,532 39.2%	25,794 21.7%	2,201 1.9%	1,456 1.2%	478 0.4%	935 0.8%	548 0.5%	770 0.6%	7,532 6.3%	710 0.6%	1,100 0.9%	2,429 2.0%	2,756 2.3%	0 0.0%	0 0.0%	118,847 100.0%
	阪神地域	5,480 9.2%	4,555 7.6%	12,256 20.6%	844 1.4%	1,531 2.6%	171 0.3%	297 0.5%	0 0.0%	0 0.0%	4,924 8.3%	11,958 20.1%	5,297 8.9%	2,017 3.4%	10,250 17.2%	0 0.0%	0 0.0%	59,580 100.0%
	播磨地域	29,216 12.8%	19,596 8.6%	33,811 14.8%	14,713 6.4%	273 0.1%	388 0.2%	618 0.3%	0 0.0%	164 0.1%	17,287 7.5%	37,616 16.4%	43,768 19.1%	3,104 1.4%	15,769 6.9%	0 0.0%	12,770 5.6%	229,093 100.0%
	淡路地域	2,211 1.1%	7,247 3.8%	4,328 2.2%	24,346 12.6%	732 0.4%	6,104 3.2%	1,614 0.8%	151 0.1%	1,324 0.7%	15,848 8.2%	22,259 11.5%	61,987 32.2%	928 0.5%	11,877 6.2%	619 0.3%	31,148 16.2%	192,723 100.0%
	小計	62,513 10.4%	77,930 13.0%	76,189 12.7%	42,104 7.0%	3,992 0.7%	7,141 1.2%	3,464 0.6%	699 0.1%	2,258 0.4%	45,591 7.6%	72,543 12.1%	112,152 18.7%	8,478 1.4%	40,652 6.8%	619 0.1%	43,918 7.3%	600,243 100.0%
大阪府	大阪市地域	33,591 26.6%	17,680 14.0%	29,527 23.4%	0 0.0%	531 0.4%	515 0.4%	196 0.2%	0 0.0%	182 0.1%	2,938 2.3%	11,149 8.8%	7,471 5.9%	6,384 5.1%	15,959 12.7%	0 0.0%	0 0.0%	126,123 100.0%
	泉北地域	20,530 22.9%	16,529 18.5%	16,549 18.5%	2,062 2.3%	217 0.2%	164 0.2%	0 0.0%	117 0.1%	0 0.0%	5,325 5.9%	2,378 2.7%	2,802 3.1%	1,508 1.7%	21,345 23.8%	0 0.0%	0 0.0%	89,526 100.0%
	泉南地域	4,080 5.8%	4,105 5.9%	4,346 6.2%	8,168 11.7%	689 1.0%	550 0.8%	0 0.0%	0 0.0%	510 0.7%	4,271 6.1%	3,020 4.3%	16,480 23.6%	397 0.6%	20,331 29.1%	404 0.6%	2,504 3.6%	69,855 100.0%
	小計	58,201 20.4%	38,314 13.4%	50,422 17.7%	10,230 3.6%	1,437 0.5%	1,229 0.4%	196 0.1%	117 0.0%	692 0.2%	12,534 4.4%	16,547 5.8%	26,753 9.4%	8,289 2.9%	57,635 20.2%	404 0.1%	2,504 0.9%	285,504 100.0%
和歌山県	和歌山地域	14,157 14.2%	5,306 5.3%	17,636 17.7%	7,803 7.8%	453 0.5%	380 0.4%	76 0.1%	0 0.0%	298 0.3%	8,143 8.2%	6,926 7.0%	15,729 15.8%	968 1.0%	3,211 3.2%	0 0.0%	18,326 18.4%	99,412 100.0%
	有田・御坊地域	2,060 1.7%	710 0.6%	7,745 6.3%	16,057 13.0%	274 0.2%	773 0.6%	252 0.2%	461 0.4%	815 0.7%	7,460 6.1%	565 0.5%	23,020 18.7%	1,129 0.9%	7,145 5.8%	1,186 1.0%	53,550 43.5%	123,202 100.0%
	小計	16,217 7.3%	6,016 2.7%	25,381 11.4%	23,860 10.7%	727 0.3%	1,153 0.5%	328 0.1%	461 0.2%	1,113 0.5%	15,603 7.0%	7,491 3.4%	38,749 17.4%	2,097 0.9%	10,356 4.7%	1,186 0.5%	71,876 32.3%	222,614 100.0%
合計	136,931 12.4%	122,260 11.0%	151,992 13.7%	76,194 6.9%	6,156 0.6%	9,523 0.9%	3,988 0.4%	1,277 0.1%	4,063 0.4%	73,728 6.7%	96,581 8.7%	177,654 16.0%	18,864 1.7%	108,643 9.8%	2,209 0.2%	118,298 10.7%	1,108,361 100.0%	

※ 本表の集計値は、本年度調査結果と同一精度で比較するため、「研究資料」の調査結果図面を基に今回新たに GIS データを作成して集計した値を用いており、「研究資料」の集計結果とは若干数値が異なっている。

表10 土地利用分類別水際線延長及び割合（平成20年度）

地域		工業流通	岸壁物揚場	護岸防潮堤	漁港等	マリナ	住宅	商業	公共	文教厚生	公園緑地	歩道	車道	橋梁	改変中	田畑	樹林地草地	合計
兵庫県	神戸市地域	26,747 21.2%	38,039 30.1%	22,050 17.5%	2,596 2.1%	1,564 1.2%	698 0.6%	2,330 1.8%	0 0.0%	1,739 1.4%	8,786 7.0%	6,046 4.8%	4,695 3.7%	5,533 4.4%	5,369 4.3%	0 0.0%	0 0.0%	126,192 100.0%
	阪神地域	3,629 5.0%	8,190 11.2%	11,360 15.6%	844 1.2%	5,315 7.3%	171 0.2%	297 0.4%	0 0.0%	0 0.0%	12,215 16.8%	14,144 19.4%	5,730 7.9%	4,249 5.8%	6,692 9.2%	0 0.0%	0 0.0%	72,836 100.0%
	播磨地域	34,547 14.3%	15,154 6.3%	32,047 13.3%	17,693 7.3%	3,276 1.4%	517 0.2%	1,061 0.4%	261 0.1%	1,330 0.6%	22,260 9.2%	37,402 15.5%	44,732 18.5%	3,669 1.5%	14,783 6.1%	0 0.0%	12,653 5.2%	241,385 100.0%
	淡路地域	2,908 1.5%	5,376 2.7%	3,592 1.8%	24,080 12.1%	451 0.2%	4,806 2.4%	1,818 0.9%	1,155 0.6%	1,333 0.7%	28,458 14.3%	16,145 8.1%	60,325 30.4%	1,464 0.7%	17,012 8.6%	550 0.3%	29,012 14.6%	198,485 100.0%
	小計	67,831 10.6%	66,759 10.4%	69,049 10.8%	45,213 7.1%	10,606 1.7%	6,192 1.0%	5,506 0.9%	1,416 0.2%	4,402 0.7%	71,719 11.2%	73,737 11.5%	115,482 18.1%	14,915 2.3%	43,856 6.9%	550 0.1%	41,665 6.5%	638,898 100.0%
大阪府	大阪市地域	27,936 20.4%	20,424 14.9%	30,493 22.2%	0 0.0%	600 0.4%	421 0.3%	2,253 1.6%	977 0.7%	289 0.2%	10,054 7.3%	11,797 8.6%	8,875 6.5%	7,722 5.6%	15,290 11.1%	0 0.0%	0 0.0%	137,131 100.0%
	泉北地域	21,127 22.5%	16,133 17.2%	14,037 15.0%	2,212 2.4%	1,275 1.4%	277 0.3%	0 0.0%	1,156 1.2%	399 0.4%	8,726 9.3%	3,357 3.6%	3,326 3.5%	1,835 2.0%	19,919 21.2%	0 0.0%	0 0.0%	93,779 100.0%
	泉南地域	2,951 3.3%	7,841 8.8%	15,026 16.8%	8,108 9.1%	988 1.1%	170 0.2%	666 0.7%	374 0.4%	372 0.4%	16,642 18.6%	5,183 5.8%	14,726 16.5%	1,470 1.6%	12,541 14.0%	0 0.0%	2,239 2.5%	89,297 100.0%
	小計	52,014 16.2%	44,398 13.9%	59,556 18.6%	10,320 3.2%	2,863 0.9%	868 0.3%	2,919 0.9%	2,507 0.8%	1,060 0.3%	35,422 11.1%	20,337 6.4%	26,927 8.4%	11,027 3.4%	47,750 14.9%	0 0.0%	2,239 0.7%	320,207 100.0%
和歌山県	和歌山地域	12,101 11.2%	7,219 6.7%	13,681 12.7%	8,127 7.5%	2,211 2.0%	378 0.4%	1,406 1.3%	568 0.5%	0 0.0%	9,448 8.8%	5,699 5.3%	20,425 18.9%	2,416 2.2%	6,424 6.0%	0 0.0%	17,769 16.5%	107,872 100.0%
	有田・御坊地域	1,742 1.4%	3,373 2.7%	7,258 5.7%	19,738 15.6%	274 0.2%	936 0.7%	252 0.2%	594 0.5%	768 0.6%	10,039 7.9%	490 0.4%	19,704 15.6%	1,436 1.1%	7,263 5.7%	230 0.2%	52,476 41.5%	126,573 100.0%
	小計	13,843 5.9%	10,592 4.5%	20,939 8.9%	27,865 11.9%	2,485 1.1%	1,314 0.6%	1,658 0.7%	1,162 0.5%	768 0.3%	19,487 8.3%	6,189 2.6%	40,129 17.1%	3,852 1.6%	13,687 5.8%	230 0.1%	70,245 30.0%	234,445 100.0%
合計	133,688 11.2%	121,749 10.2%	149,544 12.5%	83,398 7.0%	15,954 1.3%	8,374 0.7%	10,083 0.8%	5,085 0.4%	6,230 0.5%	126,628 10.6%	100,263 8.4%	182,538 15.3%	29,794 2.5%	105,293 8.8%	780 0.1%	114,149 9.6%	1,193,550 100.0%	

(2) 地域別の傾向

① 兵庫県

- ・神戸市地域では、産業施設（68.8％）の割合が非常に高く、特に岸壁・物揚場（30.1％）の割合が高い。しかし、平成5年度と比べると、構成比では14ポイント低下しており、その割合は相対的に低下している。次いで、公園・緑地（7.0％）が若干高くなっているほか、歩行者系道路の伸びが著しい（0.6％→4.8％）。
- ・阪神地域については、産業施設（31.8％）の割合がやや高いが、工業流通施設（5.0％）の割合は低い。産業施設に次いで、歩行者系道路（19.4％）、公園・緑地（16.8％）の割合が高くなっている。特に公園緑地は構成比で倍増、延長で2.5倍になっている。また、マリーナも西宮や芦屋等での整備が進んだため、約3倍に増加している。
- ・播磨地域については、産業施設（33.9％）がやや高く、自動車系道路（18.5％）、歩行者系道路（15.5％）が続いている。全体的に構成比の変動が少なく、マリーナが増加している以外は、平成5年と類似した構成となっている。
- ・淡路地域については、四方を海に囲まれた地形の特性と海岸線に沿って張り巡らされた道路網から、自動車系道路（30.4％）が最も高く、次いで樹林地・草地（14.6％）、公園・緑地（14.3％）、漁港等（12.1％）等が高くなっている。他地域では割合の高い産業施設も6.0％と非常に低くなっている。また公園緑地の伸びが顕著である。

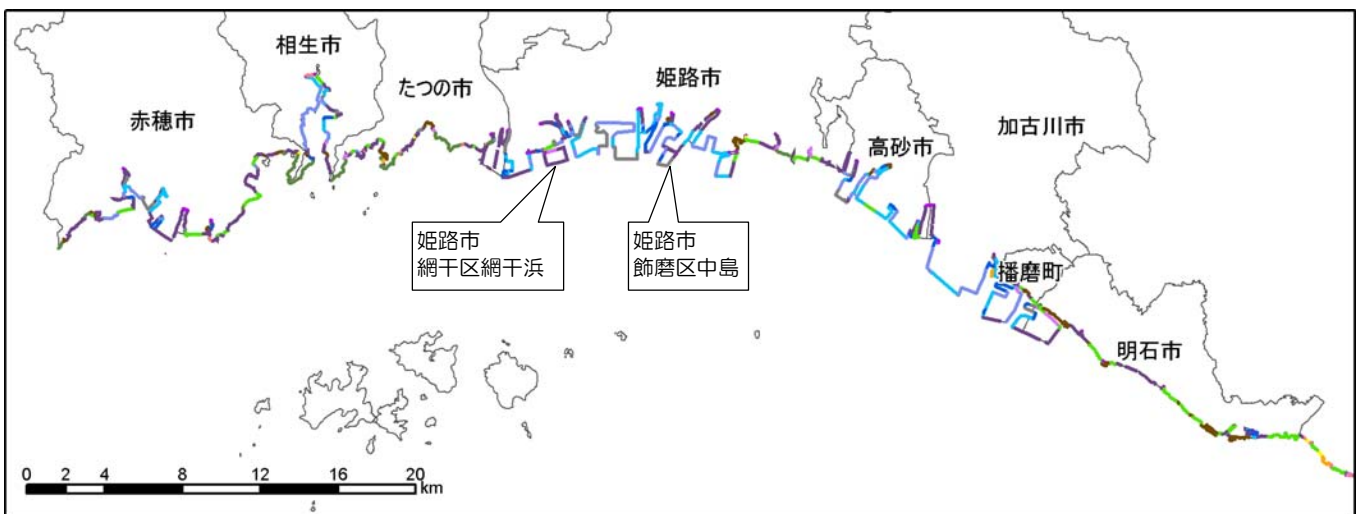
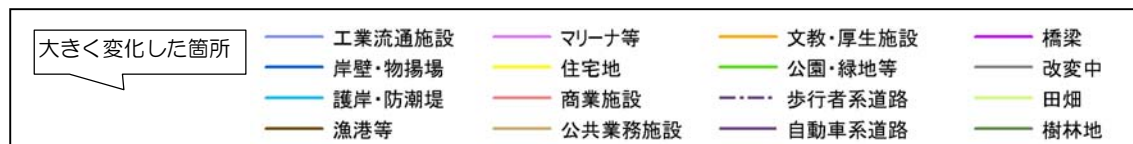


図4 土地利用の現況（播磨地域）



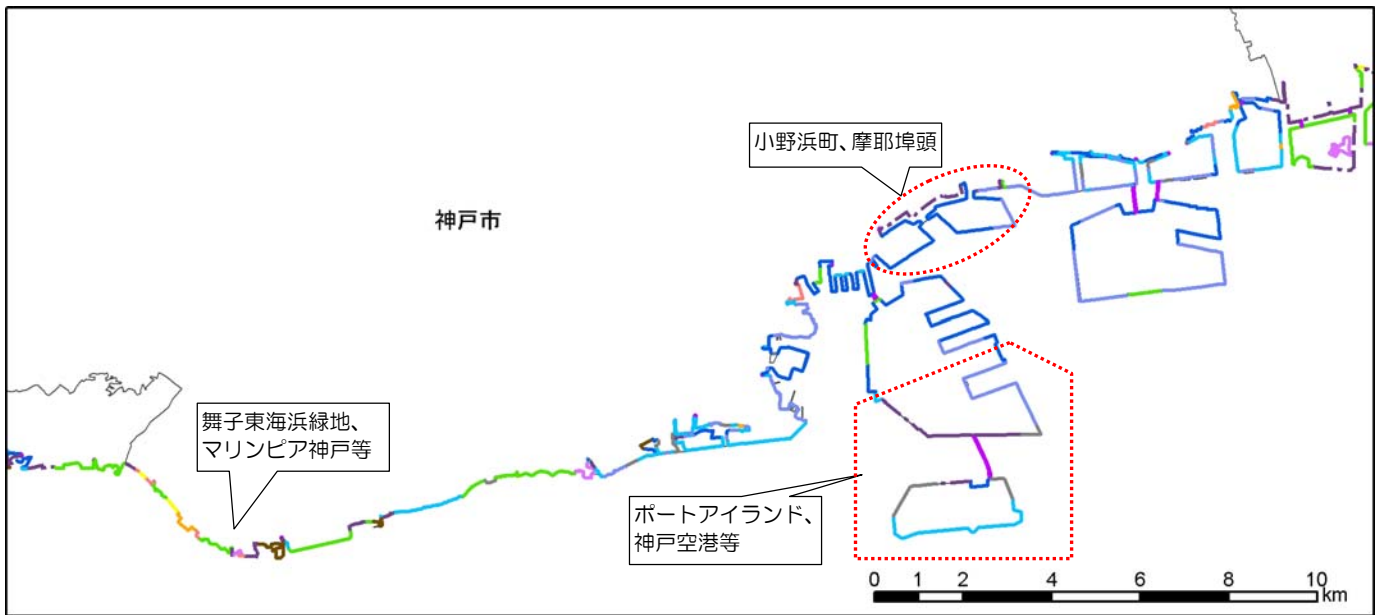


図5 土地利用の現況（神戸市地域）

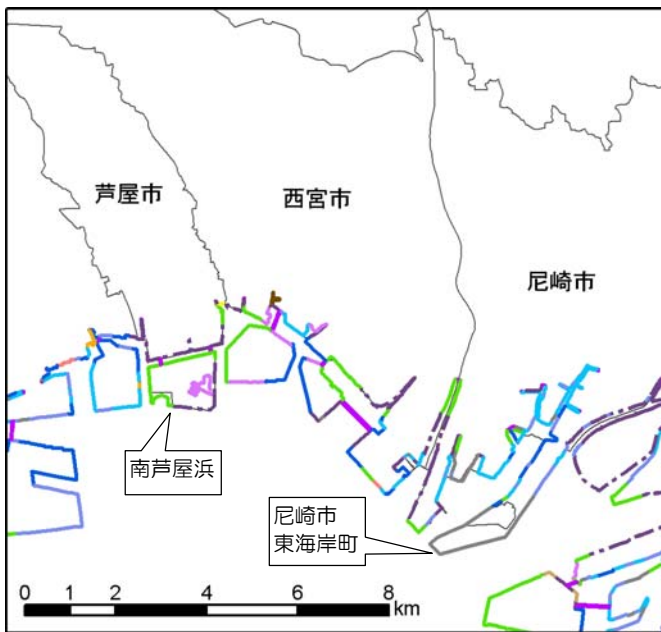
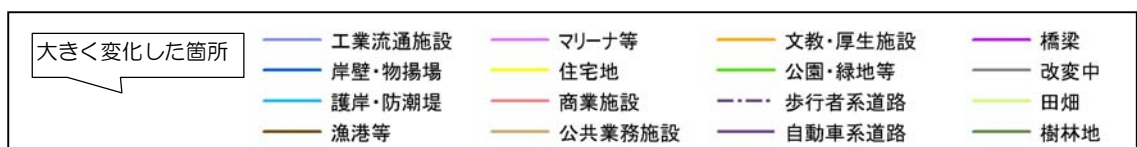


図6 土地利用の現況（阪神地域）



図7 土地利用の現況（淡路地域）



② 大阪府

- ・大阪市地域は神戸市地域と同じく産業施設 (57.5%) の割合が高い。また、改変中 (11.1%) の割合がやや高くなっている。特徴的な変化として、公園・緑地が延長・構成比で3倍以上となっているほか、構成比は低いものの商業施設が大幅に増加している。
- ・泉北地域も大阪市地域と同様、産業施設 (54.7%)、改変中 (21.2%) が高くなっている。他地域に比べ、改変中の割合が非常に高い。また、水際線の延長、構成比は低いものの、公園・緑地とマリナーの増加幅が大きい。
- ・泉南地域については、他地域と比べて、産業施設の割合がやや低く (28.9%)、公園・緑地 (18.6%)、自動車系道路 (16.5%)、改変中 (14.0%) の割合が高くなっている。伸びの大きいものとして、護岸・防潮堤、緑地・公園が目立っている。

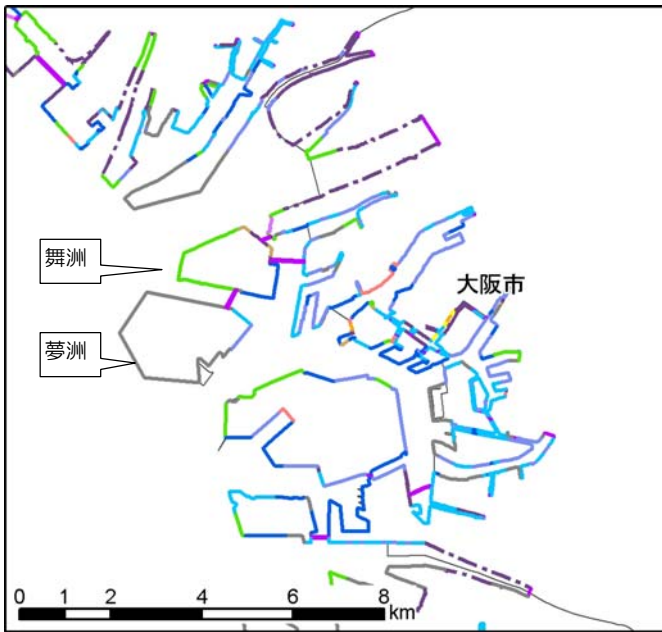


図8 土地利用の現況 (大阪市地域)

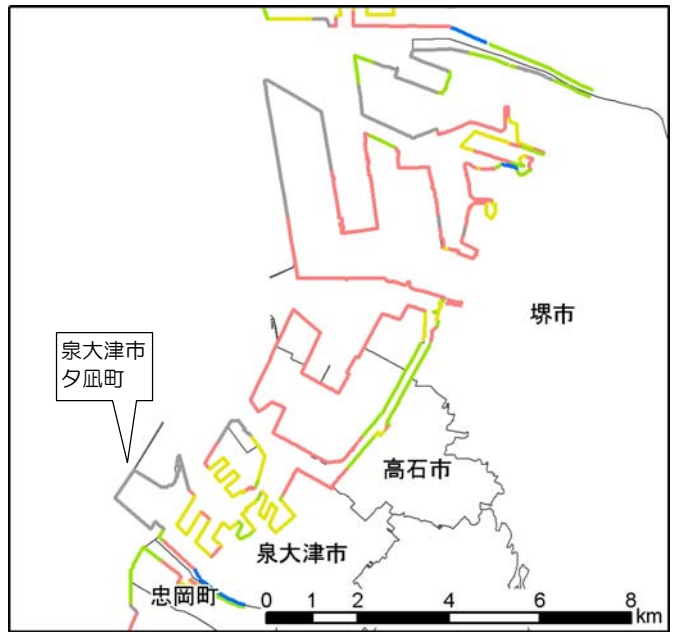


図9 土地利用の現況 (泉北地域)

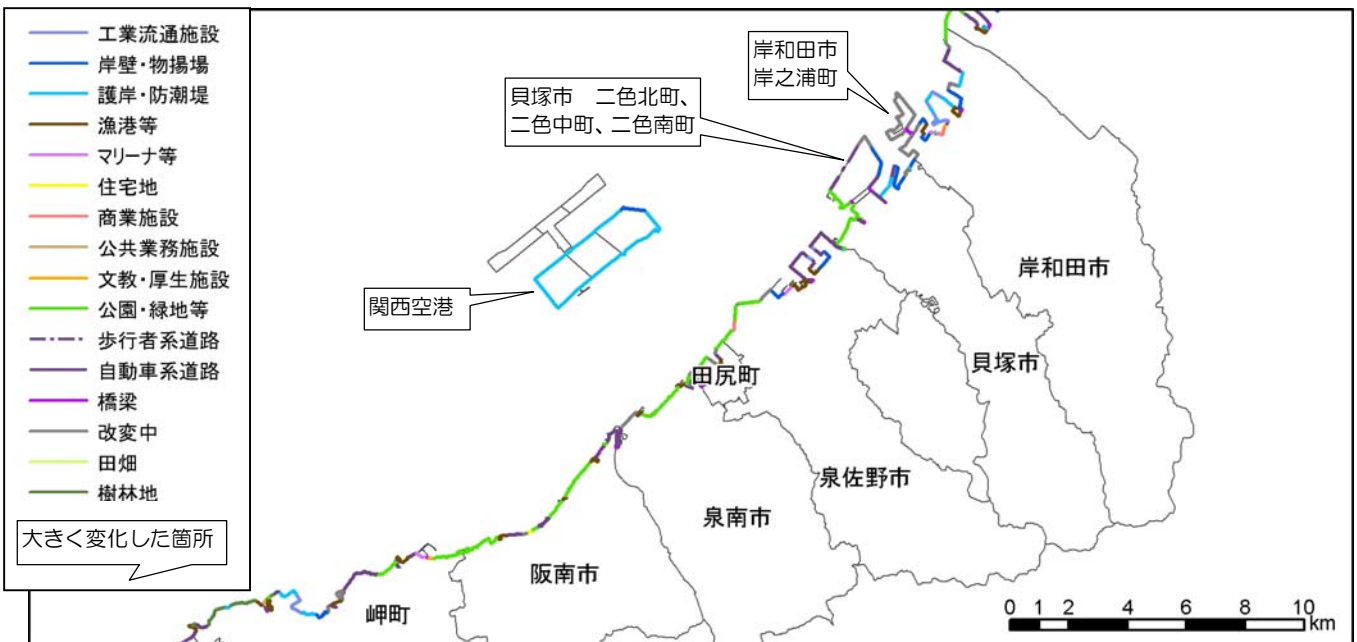


図10 土地利用の現況 (泉南地域)

③ 和歌山県

- ・和歌山地域については、産業施設(30.6%)、自動車系道路(18.9%)、樹林地・草地(16.5%)が高くなっている。ただ、産業施設は減少傾向にある。マリーナや商業は、構成比は低いものの増加がみられる。全般的には、大きな変動はみられない。
- ・有田・御坊地域では、樹林地・草地(41.5%)が非常に高く、自然が壊されずに、豊富に残っている地域である。次いで漁港等(15.6%)、自動車系道路(15.6%)が高くなっているが、産業施設の割合は1割程度に止まっている。

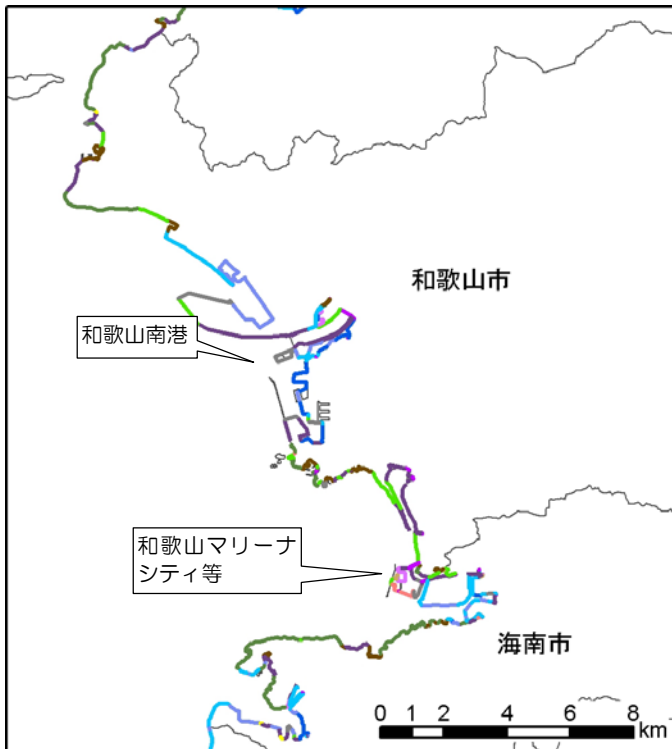


図11 土地利用の変遷(和歌山地域)

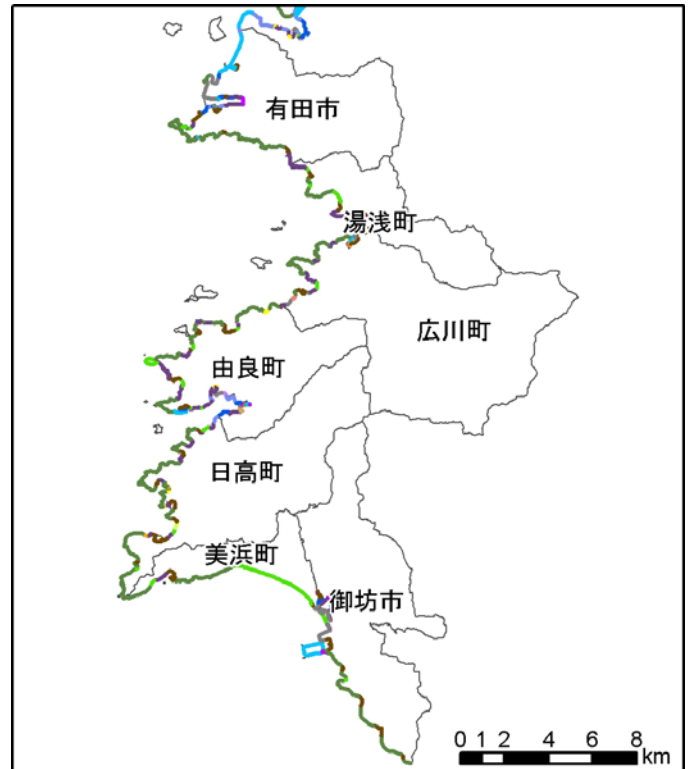
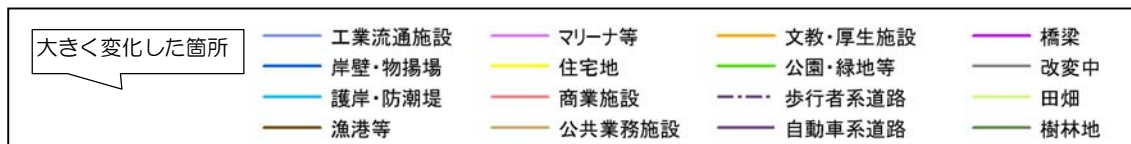


図12 土地利用の変遷(有田・御坊地域)



4-2 地域別の水際線における親水性の状況

(1) 平成20年時点の現況把握（調査範囲ア）

① 全体の傾向

- ・水際線の総延長は1,171kmとなっている
- ・全体では、レベルⅣが最も高く、次いでレベルⅡ、レベルⅢ、自然海岸となっている

表11 親水性分類別水際線延長及び割合（平成20年度 対象範囲ア）

地域		自然海岸	人工海岸					合計
			レベルⅠ	レベルⅡ	レベルⅢ	レベルⅣ	改変中	
兵庫県	神戸市地域	340 0.3%	4,465 3.7%	16,515 13.7%	29,805 24.7%	64,243 53.2%	5,334 4.4%	120,702 100.0%
	阪神地域	0 0.0%	3,867 5.7%	24,898 36.4%	14,177 20.7%	18,798 27.5%	6,598 9.7%	68,338 100.0%
	播磨地域	21,511 9.0%	16,831 7.1%	67,207 28.3%	42,958 18.1%	74,659 31.4%	14,689 6.2%	237,855 100.0%
	淡路地域	57,901 29.2%	11,395 5.7%	72,163 36.4%	28,460 14.3%	11,635 5.9%	16,919 8.5%	198,473 100.0%
	小計	79,752 12.8%	36,558 5.8%	180,783 28.9%	115,400 18.5%	169,335 27.1%	43,540 7.0%	625,368 100.0%
大阪府	大阪市地域	0 0.0%	8,063 6.2%	18,880 14.4%	23,273 17.8%	65,304 49.9%	15,331 11.7%	130,851 100.0%
	泉北地域	81 0.1%	578 0.6%	13,707 14.9%	17,936 19.4%	40,009 43.4%	19,911 21.6%	92,222 100.0%
	泉南地域	4,674 5.3%	11,144 12.5%	22,380 25.2%	19,190 21.6%	19,333 21.7%	12,255 13.8%	88,976 100.0%
	小計	4,755 1.5%	19,785 6.3%	54,967 17.6%	60,399 19.4%	124,646 39.9%	47,497 15.2%	312,049 100.0%
和歌山県	和歌山地域	23,666 21.7%	495 0.5%	23,584 21.6%	23,189 21.2%	31,524 28.9%	6,686 6.1%	109,144 100.0%
	有田・御坊地域	57,996 46.6%	7,693 6.2%	20,686 16.6%	18,900 15.2%	12,305 9.9%	6,989 5.6%	124,569 100.0%
	小計	81,662 34.9%	8,188 3.5%	44,270 18.9%	42,089 18.0%	43,829 18.8%	13,675 5.9%	233,713 100.0%
合計	166,169 14.2%	64,531 5.5%	280,020 23.9%	217,888 18.6%	337,810 28.8%	104,712 8.9%	1,171,130 100.0%	

② 地域別の傾向

a) 兵庫県

- ・神戸市地域では、レベルⅣ（53.2%）が9地域中最も高い比率となっており、次いでレベルⅢ（24.7%）、レベルⅡ（13.7%）となっており、恒常的に海を見通せないレベルⅢとⅣが全体の3分の4を占めている。また、水に触れることのできる自然海岸とレベルⅠを合わせても4.0%にとどまっている。
- ・阪神地域については、レベルⅡ（36.4%）の割合が高く、次いでレベルⅣ（27.5%）、レベルⅢ（20.7%）となっており、レベルⅠとⅡの合計で42.1%と自然海岸はないものの、比較的水辺へ近づきやすい環境が整備されている。
- ・播磨地域については、レベルⅣ（31.4%）、レベルⅡ（28.3%）、レベルⅢ（18.1%）が高くなっている。埋め立てによる工業地帯が多く、水に近づけない所が多い反面、上記2地域に比べて、西部を中心に自然海岸（9.0%）が多い。
- ・淡路地域については、レベルⅡ（36.4%）が最も高く、次いで自然海岸（29.2%）、レベルⅢ（14.3%）となっており、ほぼ全域で水辺に近づくことが可能となっている。自然海岸の延長57,901mは本調査で対象とした水際線の自然海岸の延長（166,169m）の約3分の1を占めている。

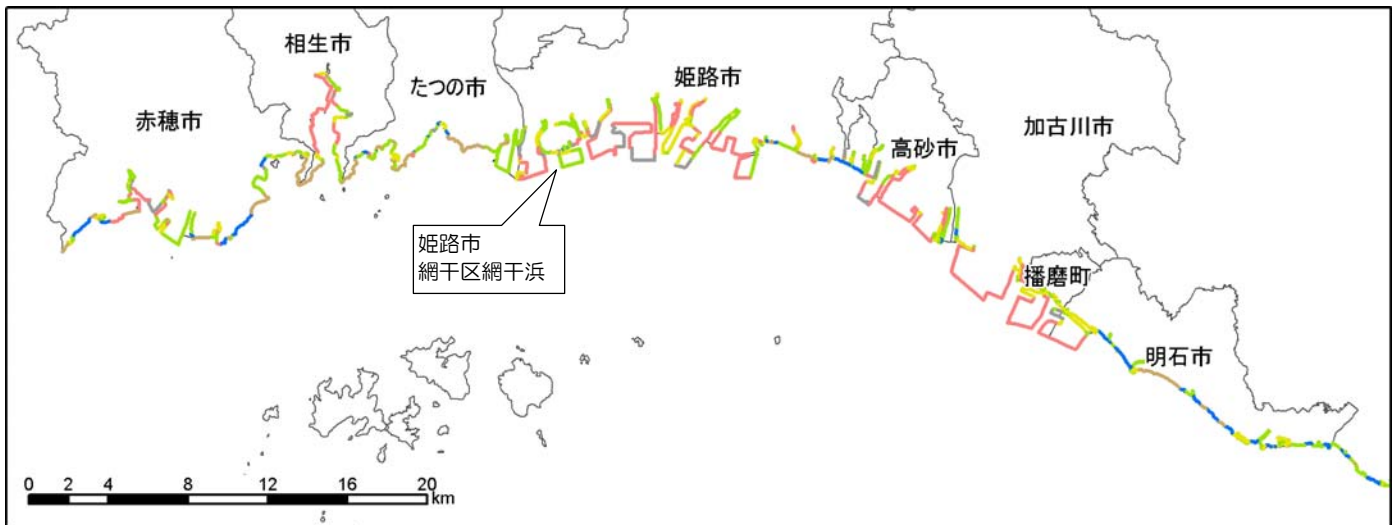
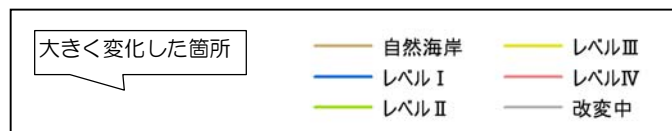


図13 親水性の現況（播磨地域）



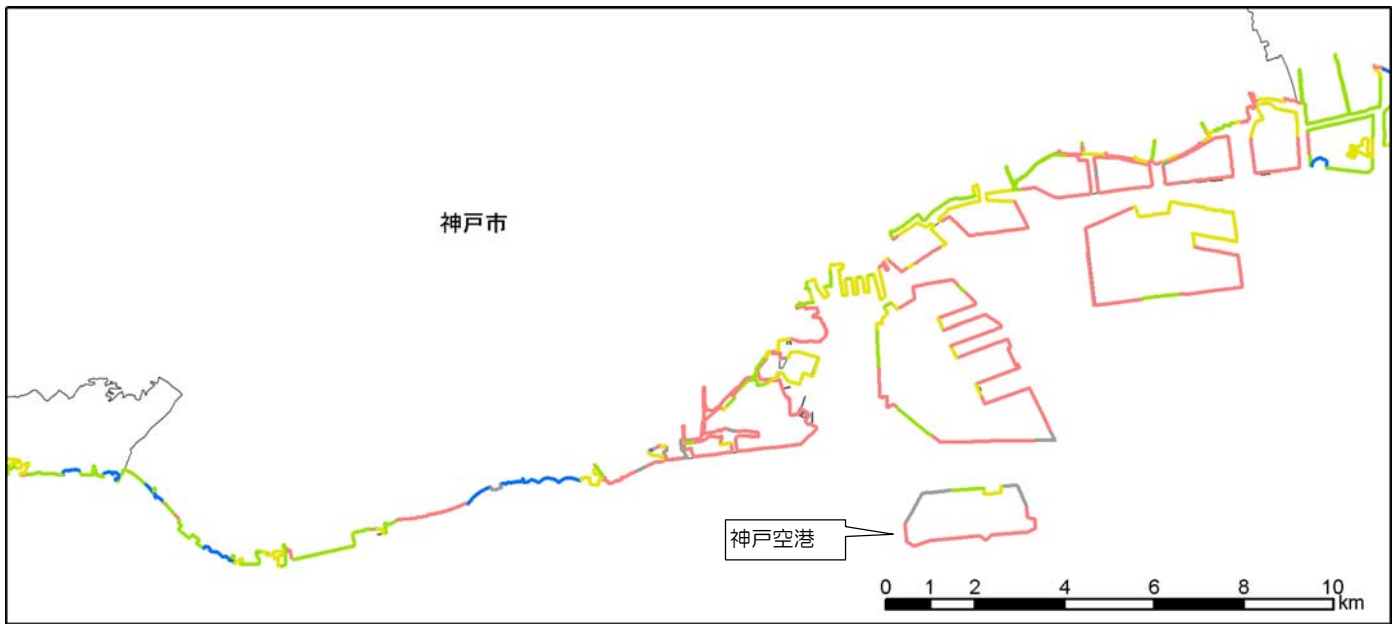


図 14 親水性の現況（神戸市地域）

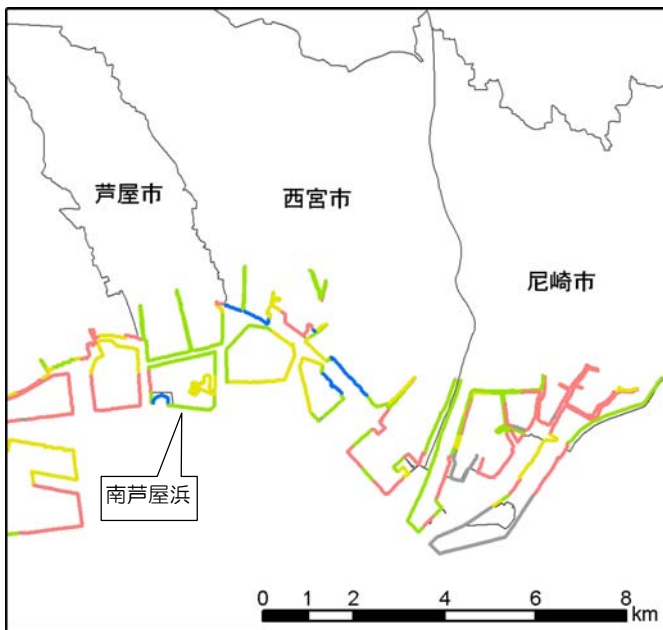
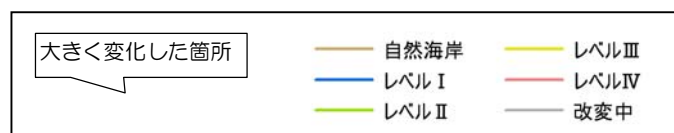


図 15 親水性の現況（阪神地域）



図 16 親水性の現況（淡路地域）



b) 大阪府

- ・大阪市地域はレベルⅣ（49.9%）の割合が非常に高く、次いでレベルⅢ（17.8%）、レベルⅡ（14.4%）となっており、水辺に近づけない箇所が多い。
- ・泉北地域も、レベルⅣ（43.4%）が非常に高く、次いでレベルⅢ（19.4%）、レベルⅡ（14.9%）が高くなっており、大阪市と同様の傾向を示している。自然海岸とレベルⅠの合計がわずか0.7%と全地域中最も低く、水に触れるという観点では厳しい地域である。
- ・泉南地域については、レベルⅡ（25.2%）が高く、次いでレベルⅣ（21.7%）、レベルⅢ（21.6%）となっている。大阪の他の2地域と比べて、レベルⅣが半分以下であり、自然海岸、レベルⅠ、レベルⅡの割合が高く、親水性の高い地域である。

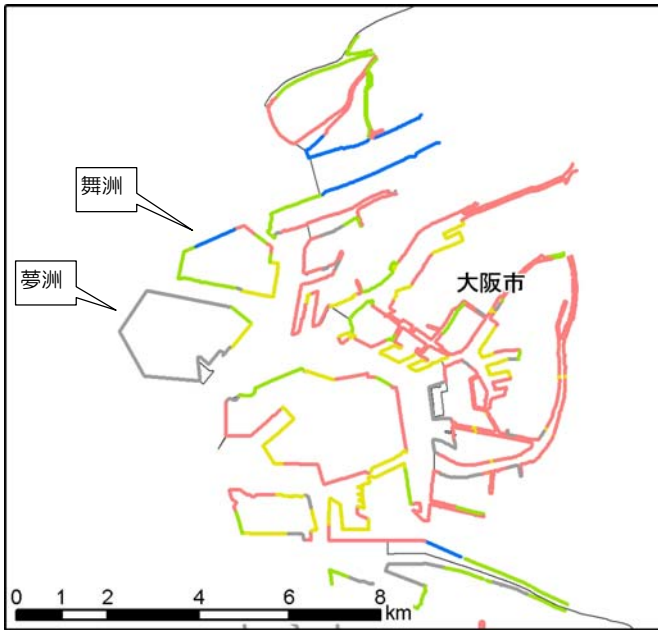


図 17 親水性の現況（大阪市地域）

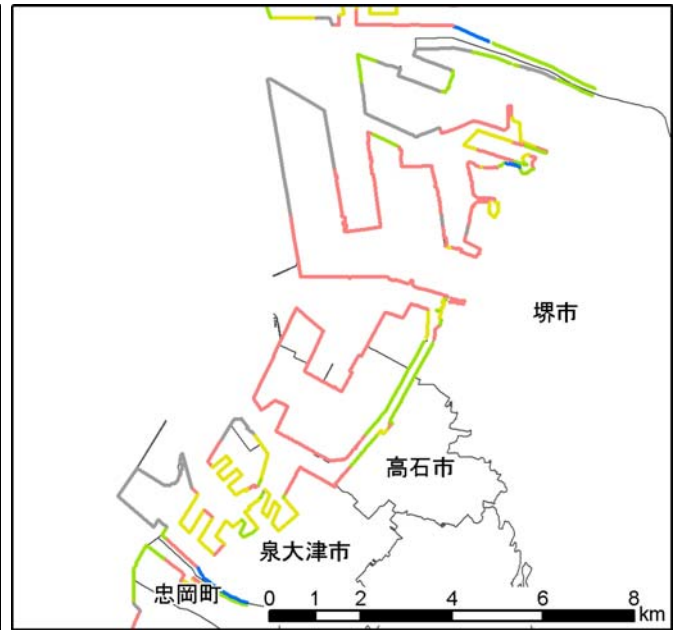


図 18 親水性の現況（泉北地域）

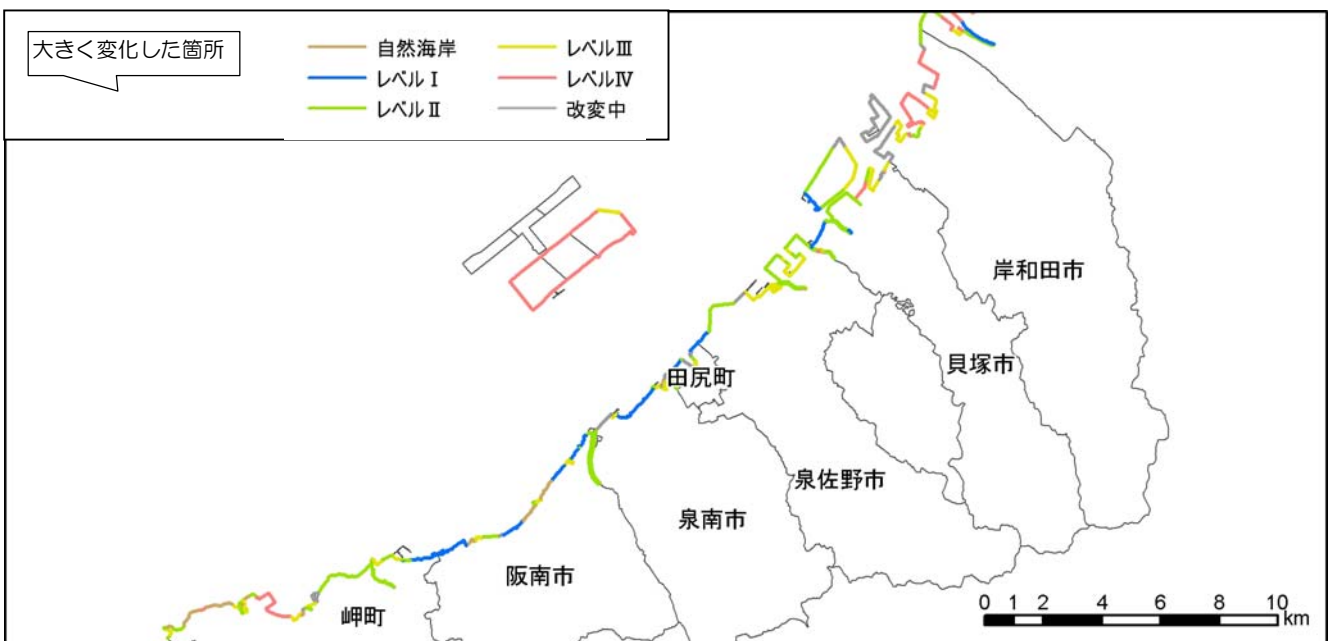


図 19 親水性の現況（泉南地域）

c) 和歌山県

- ・和歌山地域については、レベルⅣ (28.9%)、自然海岸 (21.7%)、レベルⅡ (21.6%)、レベルⅢ (21.2%) が高くなっている。この地域では、海岸が断崖となっている箇所が多いため、自然海岸の割合が約2割を占め、レベルⅠとⅡを加えると、全域のほぼ半分で高い親水性が得られる。他方、レベルⅣが約3割、レベルⅢとⅣの合計も5割近くを占め、親水性の高い水際線と低い水際線が相半ばする地域である。
- ・有田・御坊地域では、自然海岸 (46.6%) が非常に高く、次いでレベルⅡ (16.6%)、レベルⅢ (15.2%) が高くなっている。自然海岸の割合が46.6%と高く、延長57,996mは本調査で対象とした水際線の自然海岸の延長 (166,169m) の約3分の1を占めている。レベルⅣも1割程度に止まり、極めて親水性の高い地域である。

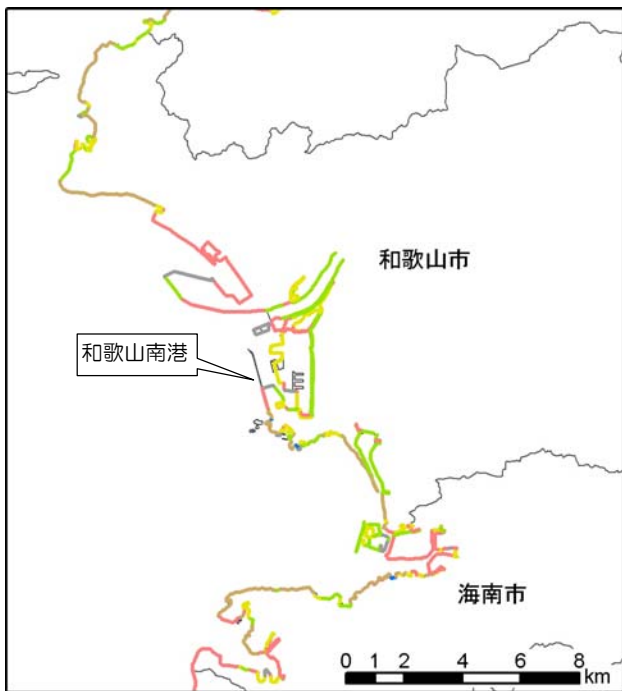


図20 親水性の現況 (和歌山地域)

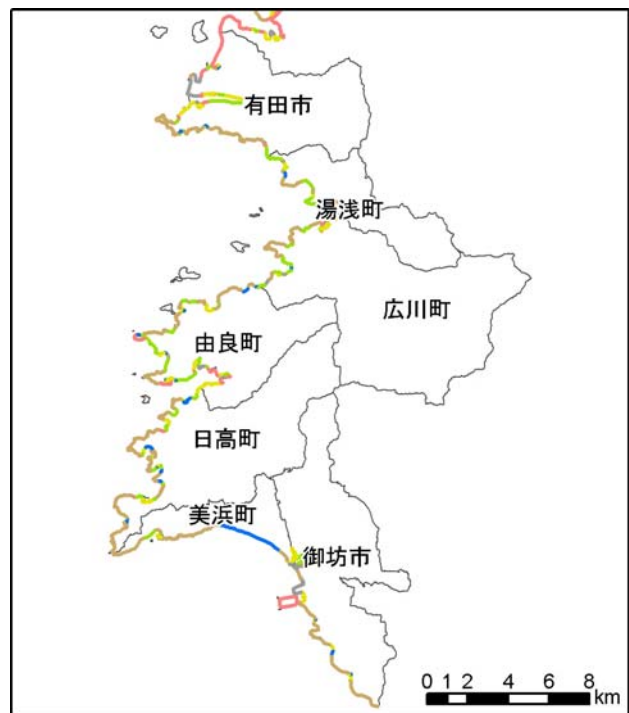
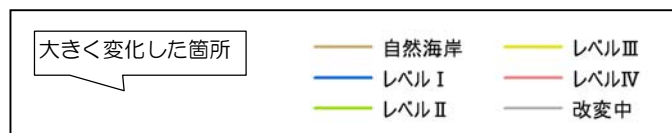


図21 親水性の変遷 (有田・御坊地域)



(2) 先行調査との比較（調査範囲イ）

① 全体の傾向

- ・水際線総延長は、埋め立て地の増加等により 1,108km から 1,101km に増加している
- ・なお、調査範囲アに比べて調査対象範囲が狭いため（たつの市以西と淡路島西部は調査対象範囲外）、総延長が 70km 程度少なくなっている。
- ・親水性分類別では、自然海岸、レベルⅢが減少している一方、レベルⅡが増加、レベルⅠが微増となっている。レベルⅣ、改変中には大きな変化はみられなかった。

② 地域別の傾向

a) 兵庫県

- ・兵庫県全体としては自然海岸、レベルⅢが減少し、レベルⅡが増加している。新規埋立地における公園緑地等の配置による親水性への配慮、産業施設跡地の公園緑地等への利用が増え、海へ近づきやすくなったためである。
- ・神戸市地域では、自然海岸が大きく減少したものの、レベルⅡが増加している。
- ・阪神地域では、レベルⅡが大きく増加し、レベルⅢ、改変中が減少するなど、親水性の点からは改善が進んでいる。
- ・播磨地域、淡路地域では、レベルⅡの大幅増加、レベルⅢの大幅減少が目立ち、親水性の点では改善が進みつつあるが、淡路地域の自然海岸の減少が懸念要因となっている。

b) 大阪府

- ・大阪府全体としては、自然海岸、レベルⅢが減少し、レベルⅠ、レベルⅡが増加している。舞洲、夢洲、二色浜公園、りんくう公園など、新しくできた埋立地において親水性の高い水際線が整備されたことによる。
- ・大阪市地域では、レベルⅠが著しく増加したほか、レベルⅣが 10 ポイント低下しているのが目立つ動きとなっている。
- ・泉北地域では、大きな変化はみられなかった。
- ・泉南地域では、レベルⅠ・Ⅱが倍増している一方、レベルⅢがほぼ半減するなど、この間に親水性の大幅な改善が見られる。

c) 和歌山県

- ・和歌山県全体としてはレベルⅢが減少し、レベルⅡが増加している。産業施設跡地の公園緑地等への利用や港湾緑地の整備により、海へ近づきやすくなったためである。
- ・和歌山地域では、レベルⅡが増加、レベルⅢが減少しており、県全体とほぼ同じ傾向となっている。
- ・有田・御坊地域では、レベルⅡが約 3 倍に増加しており、全体として親水性が改善されているが、自然海岸が 10 ポイント以上低下していることは懸念要因となっている。

表 12 親水性分類別水際線延長及び割合（平成 12 年度 対象範囲イ）

地域		自然海岸	人工海岸					合計
			レベルⅠ	レベルⅡ	レベルⅢ	レベルⅣ	変更中	
兵庫	神戸市地域	2,591	4,328	15,027	33,421	70,150	1,514	127,031
		2.0%	3.4%	11.8%	26.3%	55.2%	1.2%	100.0%
	阪神地域	0	4,128	22,591	21,841	24,553	12,734	85,847
		0.0%	4.8%	26.3%	25.4%	28.6%	14.8%	100.0%
	播磨地域	5,292	8,057	30,755	59,712	68,921	4,801	177,538
		3.0%	4.5%	17.3%	33.6%	38.8%	2.7%	100.0%
淡路地域	30,877	5,154	25,819	27,838	6,655	6,791	103,134	
	29.9%	5.0%	25.0%	27.0%	6.5%	6.6%	100.0%	
小計		38,760	21,667	94,192	142,812	170,279	25,840	493,550
		7.9%	4.4%	19.1%	28.9%	34.5%	5.2%	100.0%
大阪府	大阪市地域	0	341	18,687	26,883	93,397	6,195	145,503
		0.0%	0.2%	12.8%	18.5%	64.2%	4.3%	100.0%
	泉北地域	81	0	14,087	19,089	42,475	20,202	95,934
		0.1%	0.0%	14.7%	19.9%	44.3%	21.1%	100.0%
	泉南地域	5,661	4,659	13,604	33,624	20,339	14,996	92,883
6.1%		5.0%	14.6%	36.2%	21.9%	16.1%	100.0%	
小計		5,742	5,000	46,378	79,596	156,211	41,393	334,320
		1.7%	1.5%	13.9%	23.8%	46.7%	12.4%	100.0%
和歌山	和歌山地域	24,381	362	16,662	41,828	33,790	8,080	125,103
		19.5%	0.3%	13.3%	33.4%	27.0%	6.5%	100.0%
	有田・御坊地域	73,069	7,327	9,703	24,412	11,642	2,202	128,355
		56.9%	5.7%	7.6%	19.0%	9.1%	1.7%	100.0%
小計		97,450	7,689	26,365	66,240	45,432	10,282	253,458
		38.4%	3.0%	10.4%	26.1%	17.9%	4.1%	100.0%
合計		141,952	34,356	166,935	288,648	371,922	77,515	1,081,328
		13.1%	3.2%	15.4%	26.7%	34.4%	7.2%	100.0%

※ 本表の集計値は、本年度調査結果と同一精度で比較するため、「整備計画調査」の調査結果図面を基に今回新たに GIS データを作成して集計した値を用いており、「整備計画調査」の集計結果とは若干数値が異なっている。（P12 に詳述）

表 13 親水性分類別水際線延長及び割合（平成 20 年度 対象範囲イ）

地域		自然海岸	人工海岸					合計
			レベルⅠ	レベルⅡ	レベルⅢ	レベルⅣ	変更中	
兵庫	神戸市地域	340	4,465	22,567	30,659	69,943	5,334	133,308
		0.3%	3.3%	16.9%	23.0%	52.5%	4.0%	100.0%
	阪神地域	0	3,867	34,669	15,565	23,359	6,586	84,046
		0.0%	4.6%	41.3%	18.5%	27.8%	7.8%	100.0%
	播磨地域	4,532	9,877	45,200	39,540	67,043	11,805	177,997
		2.5%	5.5%	25.4%	22.2%	37.7%	6.6%	100.0%
淡路地域	22,827	6,720	41,815	17,171	5,631	11,649	105,813	
	21.6%	6.4%	39.5%	16.2%	5.3%	11.0%	100.0%	
小計		27,699	24,929	144,251	102,935	165,976	35,374	501,164
		5.5%	5.0%	28.8%	20.5%	33.1%	7.1%	100.0%
大阪府	大阪市地域	0	8,096	23,483	23,584	83,805	15,331	154,299
		0.0%	5.2%	15.2%	15.3%	54.3%	9.9%	100.0%
	泉北地域	81	1,688	15,682	17,936	40,660	19,911	95,958
		0.1%	1.8%	16.3%	18.7%	42.4%	20.7%	100.0%
	泉南地域	3,458	11,384	30,364	19,449	19,888	12,592	97,135
3.6%		11.7%	31.3%	20.0%	20.5%	13.0%	100.0%	
小計		3,539	21,168	69,529	60,969	144,353	47,834	347,392
		1.0%	6.1%	20.0%	17.6%	41.6%	13.8%	100.0%
和歌山	和歌山地域	23,666	495	34,970	24,997	33,726	6,686	124,540
		19.0%	0.4%	28.1%	20.1%	27.1%	5.4%	100.0%
	有田・御坊地域	57,996	7,693	22,170	20,507	12,561	6,989	127,916
		45.3%	6.0%	17.3%	16.0%	9.8%	5.5%	100.0%
小計		81,662	8,188	57,140	45,504	46,287	13,675	252,456
		32.3%	3.2%	22.6%	18.0%	18.3%	5.4%	100.0%
合計		112,900	54,285	270,920	209,408	356,616	96,883	1,101,012
		10.3%	4.9%	24.6%	19.0%	32.4%	8.8%	100.0%

4-3 パブリックアクセスの整備目標に対する達成状況

(1) 水際線の開放延長

① 自然海岸の保全

自然海岸については、平成 12 年度に 142km (13.1%) であったのに対し、平成 20 年度には 113km (10.3%) となっており、8 年間で約 20%減少している。

人工海岸の親水性が向上しているため、全体的に水辺へ近づきやすくなっているとはいえるが、自然海岸は大阪湾岸における貴重な資源であり、一度失われると再び増やすことはできないため、減少傾向を最小限にとどめ、できる限り現状を保全していくための対策が必要といえる。

表 14 自然海岸の延長の変化

	平成 12 年度	平成 20 年度	増減率
自然海岸	141,952 m	112,900 m	-19.9 %
	13.1 %	10.3 %	

② 人工海岸の親水性

人工海岸については、レベル I が 34km (5.0%) から 54km (4.9%) に、レベル II が 167km (15.4%) から 271km (24.6%) に増加しており、レベル I・II を合わせると、8 年間で約 1.6 倍 (61%) 増加している。

全体的に公園・緑地や商業施設等、親水性に配慮した施設用地が増加したことによると考えられる。

人工海岸の親水性の目標である、平成 12 年当時の 2 倍の延長には至らないが、現在のペースでレベル I・II が増加した場合、概ね 4～5 年後に目標達成できる見込みとなっている。

表 15 人工海岸の開放延長の変化

上段：延長 (m)、下段：構成比 (%)

	平成 12 年度	平成 20 年度	増減率	平成 22 年度 (推定)	平成 37 年度 (推定)
レベル I	34,356 m	54,285 m	58.0%増加	59,267 m	96,634 m
	3.2 %	4.9 %			
レベル II	166,935 m	270,920 m	62.3%増加	296,916 m	491,888 m
	15.4 %	24.6 %			
合計	201,291 m	325,205 m	61.6%増加	356,183 m	588,522 m
	20.4 %	29.5 %			

※平成 22 年度・37 年度の推定値は平成 12 年度から 20 年度にかけての平均増加数で推移した場合の値を記している。

(2) 海辺の魅力拠点

① 緑地系魅力拠点

表 16 の通り、公園・緑地等を 96 箇所 (1,638ha) 抽出した。

緑地系魅力拠点の整備目標である概ね 80 箇所 (約 880ha) 以上は既に達成されているといえる。

概ね対象地域全域に分布しているが、府県別にみると、兵庫県 58 箇所 (1,053ha)、大阪府 25 箇所 (421ha)、和歌山県 13 箇所 (164ha) となっており、兵庫県が最も多い。

今後は各施設の利便性の向上や利用促進が進むことが望まれる。

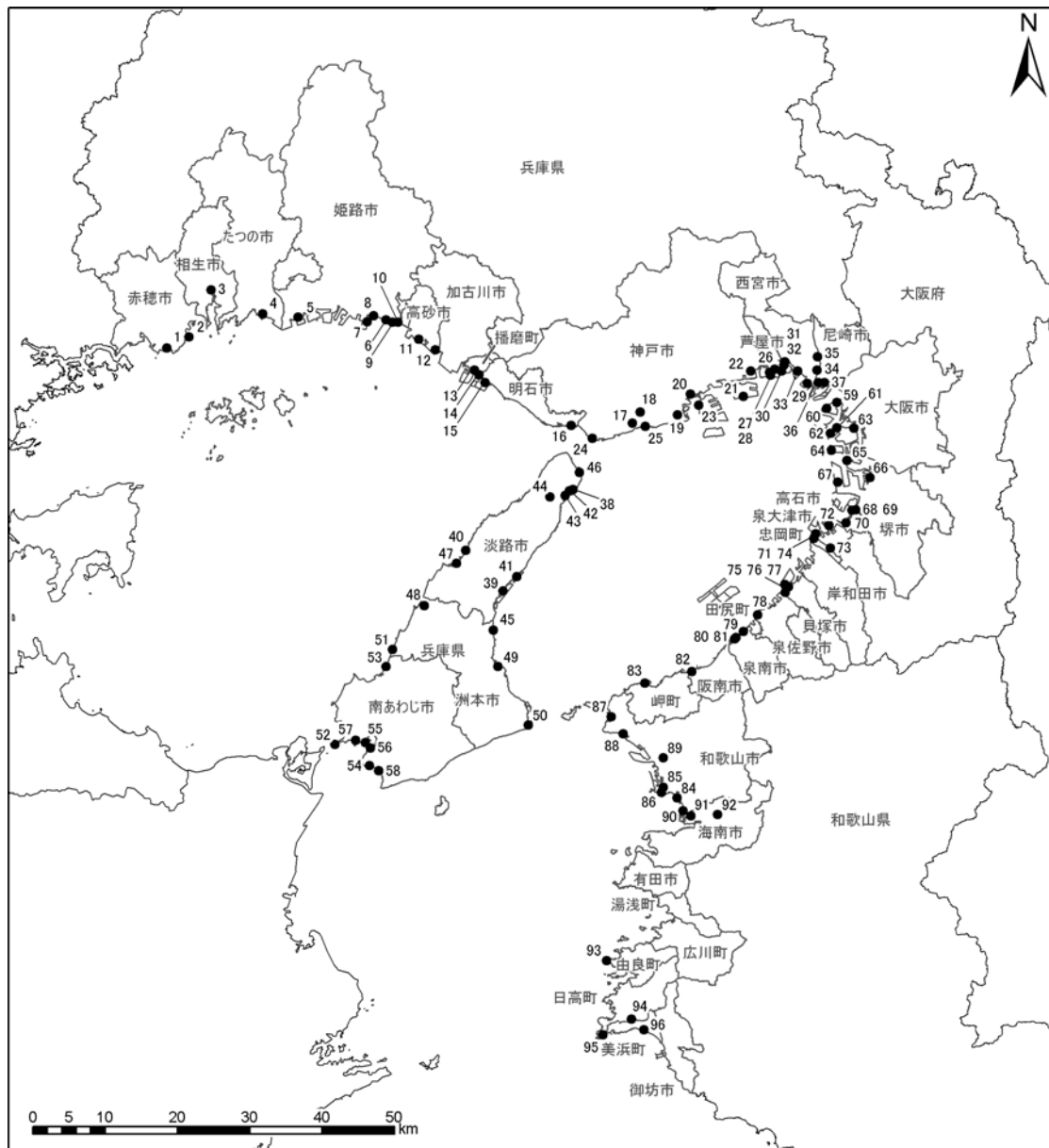


図 22 緑地系魅力拠点位置図

表 16 緑地系魅力拠点一覧 (1/2)

No.	府県名	市町名	施設名	施設内容	面積 (ha)
1	兵庫県	赤穂市	県立赤穂海浜公園	都市公園、オートキャンプ場、遊戯施設	76.2
2	兵庫県	赤穂市	丸山県民サンビーチ	海水浴場	6.4
3	兵庫県	相生市	相生市立中央公園	公園	5.0
4	兵庫県	たつの市	御津自然観察公園	公園	148.9
5	兵庫県	姫路市	網干なぎさ公園	緑地、砂浜	6.2
6	兵庫県	姫路市	小赤壁公園	公園	19.4
7	兵庫県	姫路市	灘浜緑地	公園	6.8
8	兵庫県	姫路市	白浜海水浴場	砂浜	3.3
9	兵庫県	姫路市	姫路市立福泊キャンプ場	キャンプ場、砂浜	3.2
10	兵庫県	姫路市	的形海水浴場	海水浴場	3.5
11	兵庫県	高砂市	あらい浜風公園	親水公園(港湾緑地)	8.0
12	兵庫県	高砂市	向島公園	動物広場、芝生広場、多目的球場、テニスコート	9.1
13	兵庫県	播磨町	浜田公園	体育館・球場・プールなど	3.2
14	兵庫県	播磨町	望海公園	公園、グラウンド、炊事場	3.1
15	兵庫県	明石市	明石海浜公園	海浜公園	23.4
16	兵庫県	明石市	大蔵海岸	砂浜、磯浜などの親水施設、公園・緑地、バーベキューサイト、スポーツクラブ、温浴施設等	8.8
17	兵庫県	神戸市	須磨浦公園	公園	161.8
18	兵庫県	神戸市	須磨離宮公園	庭園及び噴水等	106.4
19	兵庫県	神戸市	神戸ウイングスタジアム	スタジアム	9.5
20	兵庫県	神戸市	メリケンパーク	公園	8.5
21	兵庫県	神戸市	六甲アイランドマリンパーク	港湾緑地、展望広場、プロムナード	8.8
22	兵庫県	神戸市	瀬戸公園	公園	4.0
23	兵庫県	神戸市	ポーアイしおさい公園	公園	3.5
24	兵庫県	神戸市	アジュール舞子海水浴場	海水浴場	4.9
25	兵庫県	神戸市	須磨海水浴場	海水浴場	13.5
26	兵庫県	芦屋市	南芦屋浜陽光緑地	緑地及び親水性護岸	6.3
27	兵庫県	芦屋市	芦屋市総合公園・潮芦屋緑地	公園	11.8
28	兵庫県	芦屋市	潮芦屋ビーチ	人工海岸	6.5
29	兵庫県	西宮市	鳴尾浜臨海公園	公園	6.8
30	兵庫県	西宮市	海辺の道公園	公園	3.8
31	兵庫県	西宮市	西宮浜総合公園	公園、人工芝グラウンド	5.5
32	兵庫県	西宮市	御前浜公園	砂浜	4.3
33	兵庫県	西宮市	甲子園浜海浜公園	砂浜	18.3
34	兵庫県	西宮市	武庫川河川敷緑地	河川敷緑地	7.6
35	兵庫県	尼崎市	武庫川河川敷公園	河川敷緑地	23.1
36	兵庫県	尼崎市	尼崎スポーツの森	各種スポーツ施設(プール、フットサル、フィットネス、アイススケート等)	7.7
37	兵庫県	尼崎市	尼崎テクノランド	ゴルフ練習場・サッカーグラウンド	12.7
38	兵庫県	淡路市	国営明石海峡公園淡路地区	公園	46.5
39	兵庫県	淡路市	津名港ターミナル	交通ターミナル	3.4
40	兵庫県	淡路市	緑のみちしるべ「淡路市郡家公園」	臨海公園	5.8
41	兵庫県	淡路市	県立淡路佐野運動公園	総合公園	28.0
42	兵庫県	淡路市	淡路夢舞台	国際都市公園	22.4
43	兵庫県	淡路市	プレイパーク淡路島冒険の森	体験施設	5.3
44	兵庫県	淡路市	淡路花さじき	緑地公園	11.8
45	兵庫県	淡路市	厚浜海水浴場	海水浴場	4.6
46	兵庫県	淡路市	岩屋海水浴場(田ノ代海岸)	砂浜	3.0
47	兵庫県	淡路市	多賀の浜海水浴場	海水浴場	5.6
48	兵庫県	洲本市	高田屋嘉兵衛公園	公園	8.9
49	兵庫県	洲本市	大浜公園(大浜海水浴場)	海水浴場	4.5
50	兵庫県	洲本市	生石公園	展望台、要塞跡	55.4
51	兵庫県	洲本市	五色浜	海浜	7.5
52	兵庫県	南あわじ市	鳴門岬	公園	6.3
53	兵庫県	南あわじ市	慶野松原	砂浜、松林、遊歩道、公園	28.7
54	兵庫県	南あわじ市	吹上キャンプ場	キャンプ場	12.2
55	兵庫県	南あわじ市	休暇村南淡路	宿泊施設・オートキャンプ場・テニスコート・プール	3.3

表 16 緑地系魅力拠点一覧 (2/2)

No.	府県名	市町名	施設名	施設内容	面積 (ha)
56	兵庫県	南あわじ市	淡路じゃのひれ	オートキャンプ場、フィッシングパーク	10.9
57	兵庫県	南あわじ市	刈藻海水浴場	海水浴場	3.3
58	兵庫県	南あわじ市	阿万海岸海水浴場	海水浴場	5.3
兵庫県 小計				58箇所	1,052.5
59	大阪府	大阪市	北港ヨットハーバー	ヨットハーバー・テニスコート・緑地	9.2
60	大阪府	大阪市	舞洲緑地他	シーサイド・プロムナード・野外活動センター、運動場・テニスコート、キャンプ場等	102.3
61	大阪府	大阪市	コスモスクエア海浜緑地	ボードウォーク、芝生広場、運河	7.3
62	大阪府	大阪市	南港野鳥園	野鳥観察所、干潟	18.4
63	大阪府	大阪市	港大橋臨港緑地	緑地、展望広場	3.8
64	大阪府	大阪市	南港魚つり園	魚釣り園	5.4
65	大阪府	堺市	堺市海とのふれあい広場	緑地	16.3
66	大阪府	堺市	大浜公園	公園	15.6
67	大阪府	堺市	みなと堺グリーン広場	芝生広場	19.4
68	大阪府	堺市・高石市	浜寺公園	公園、交通遊園、野球場、青少年センター、ユースホテル	65.0
69	大阪府	堺市・高石市	泉北臨海緑地	緑地、漕艇センター、冒険広場	9.6
70	大阪府	高石市	高師浜野球場・高師浜運動場	グラウンド	3.4
71	大阪府	泉大津市	汐見公園	公園、多目的広場	3.0
72	大阪府	泉大津市	助松埠頭中央緑地	公園、テニスコート	4.0
73	大阪府	忠岡町	大津川河川公園	河川公園	8.5
74	大阪府	忠岡町	新浜緑地	緑地公園	3.4
75	大阪府	貝塚市	市民の森	公園・緑地	6.1
76	大阪府	貝塚市	大阪府営二色の浜公園	海浜・公園・水上オートバイ施設・遊歩道	12.9
77	大阪府	貝塚市	二色の浜海水浴場	海水浴場	13.3
78	大阪府	泉佐野市	府営りんくう公園	公園	15.7
79	大阪府	田尻町・泉南市	マーブルビーチ	海水浴場	15.1
80	大阪府	泉南市	りんくう南浜2号緑地	公園	5.4
81	大阪府	泉南市	サザンビーチ	海浜公園、砂浜	4.0
82	大阪府	阪南市・岬町	泉南さとうみ公園	海浜公園海水浴場	45.8
83	大阪府	岬町	緑と憩のエリア	展望台、遊歩道	8.2
大阪府 小計				25箇所	421.1
84	和歌山県	和歌山市	片男波公園	公園、文化施設、健康施設	11.1
85	和歌山県	和歌山市	養翠園	庭園	3.1
86	和歌山県	和歌山市	和歌浦地区	灯台、遊歩道、海岸、展望台	37.6
87	和歌山県	和歌山市	加太海水浴場	砂浜	3.3
88	和歌山県	和歌山市	磯の浦海水浴場	砂浜	9.6
89	和歌山県	和歌山市	紀ノ川第一緑地	河川敷緑地	3.0
90	和歌山県	和歌山市	浜の宮ビーチ	砂浜	3.3
91	和歌山県	海南市	琴ノ浦温山荘園	潮入式池泉回遊庭園(日本庭園)	4.6
92	和歌山県	海南市	わんぱく公園	公園	9.3
93	和歌山県	由良町	白崎海洋公園	ダイビングハウス、オートキャンプ場、展望台、パークセンター	7.5
94	和歌山県	日高町	西山ピクニックパーク	園地、展望施設、遊歩道	3.2
95	和歌山県	美浜町	日ノ岬地区	各種施設	52.0
96	和歌山県	美浜町	煙樹ヶ浜キャンプ場	キャンプ場	16.6
和歌山県 小計				13箇所	164.2
総計				96箇所	1,637.8

資料：「なぎさ海道」資源登録データベース (<http://www.o-bay.or.jp/dbbrowser/index.php>) に加えて、市販の地図で補足面積は図上計測による

② 賑わい系魅力拠点

表 17 の通り、商業施設、複合施設、テーマパーク等を 22 箇所抽出した。

賑わい系魅力拠点の整備目標である概ね 20 箇所以上は既に達成されているといえる。

分布状況は、緑地系魅力拠点に比べると偏在する傾向にあり、府県別には兵庫県 10 箇所、大阪府 11 箇所、和歌山県 1 箇所となっている。淡路島に 5 箇所分布している他は、概ね大都市部に立地する傾向にある。

今後は、緑地系魅力拠点と同様、各施設の利便性の向上や利用促進の他、各地域によりバランス良く配置され、賑わい系魅力拠点の充実が図られることが望まれる。



図 23 賑わい系魅力拠点位置図

表 17 賑わい系魅力拠点一覧

No.	府県名	市町名	施設名	施設内容
1	兵庫県	神戸市	マリンピア神戸	シーフードレストラン、アウトドアスポーツ用品のアウトレットモール
2	兵庫県	神戸市	神戸ハーバーランド	商業施設
3	兵庫県	神戸市	メリケンパーク	ポートタワー、海洋博物館、震災メモリアルパーク
4	兵庫県	神戸市	サンシャインワープ神戸	商業施設、広場・展望デッキ
5	兵庫県	神戸市	HAT神戸	人と防災未来センター、美術館、ブルメールHAT神戸（商業施設）
6	兵庫県	西宮市	リゾ鳴尾浜	リゾート施設
7	兵庫県	淡路市	淡路ハイウェイオアシス	展望所、オアシス館、観覧車
8	兵庫県	淡路市	淡路夢舞台	ホテル、国際会議場、展望テラス、温室、野外劇場
9	兵庫県	淡路市	淡路ワールドパークONOKORO	遊園地
10	兵庫県	淡路市	パルシェ	香りのテーマパーク
11	兵庫県	南あわじ市	道の駅うずしお	うずしお科学館、人形浄瑠璃館、大鳴門橋記念館等
12	大阪府	大阪市	舞洲スポーツアイランド	スポーツ施設、宿泊施設、緑地公園、イベントスペース等
13	大阪府	大阪市	天保山ハーバービレッジ	商業施設、客船埠頭
14	大阪府	大阪市	海遊館	水族館
15	大阪府	大阪市	サントリーミュージアム	美術館
16	大阪府	大阪市	アクアライナー・サンタマリア	観光客船
17	大阪府	大阪市	ユニバーサル・スタジオ・ジャパン	テーマパーク施設
18	大阪府	大阪市	アジア太平洋トレードセンター	商業施設
19	大阪府	大阪市	WTC展望台	展望台
20	大阪府	堺市	堺浜シーサイドステージ	商業施設
21	大阪府	岸和田市	岸和田旧港地区 (アクアヴェルデ岸和田)	商港・文化・スポーツ・住宅・業務
22	大阪府	泉佐野市・田尻町・泉南市	りんくうタウン	複合開発
23	和歌山県	和歌山市	和歌山マリーナシティ (ポルトヨーロッパ)	テーマパーク施設

資料：「なぎさ海道」資源登録データベース (<http://www.o-bay.or.jp/dbbrowser/index.php>) に加えて、市販の地図で補足

(3) パブリックアクセス整備目標に対する進捗状況のまとめ

表 18 パブリックアクセス整備目標の進捗状況

目標	整備目標	今年度調査結果	達成状況
自然海岸の保全	平成 12 年度の状態を保全	約 20%減少	やや減少が大きい
人工海岸の親水性	平成 12 年度の 2 倍 水際線全延長の約 36%程度	平成 12 年度の 1.6 倍 全延長の約 29.5%	着実に進捗している
緑地系魅力拠点	80 箇所（約 880ha）以上を 配置	96 箇所（1,638ha）配置	達成
賑わい系魅力拠点	20 箇所以上を配置	22 箇所配置	達成